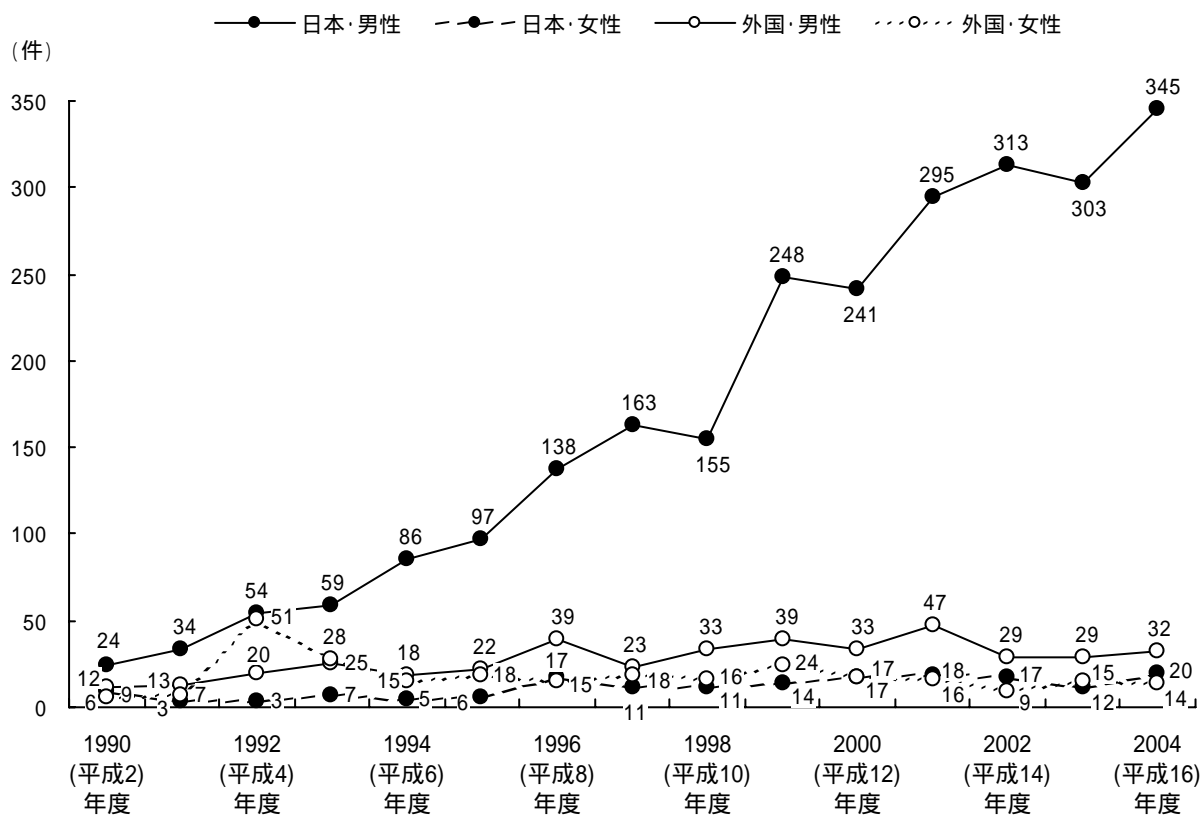


## - 5 性教育・エイズ

### 1 HIV感染者及びAIDS患者数

平成16年度のHIV感染者及びAIDS患者の報告数は「日本・男性」が345件で、上昇を続けている。「日本・女性」「外国・男性」「外国・女性」は横ばいとなっている。

図表 - 5 - 1 HIV感染者及び、AIDS患者の国籍別、性別報告数の年次推移（都）



注1：HIV感染者とは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）が体内に入り、「感染」した状態になっているが、「発症」していない状態。

注2：AIDS患者とは、HIVにより免疫機能が低下し、「指標疾患」と呼ばれる決められた疾患の症状が認められた場合。

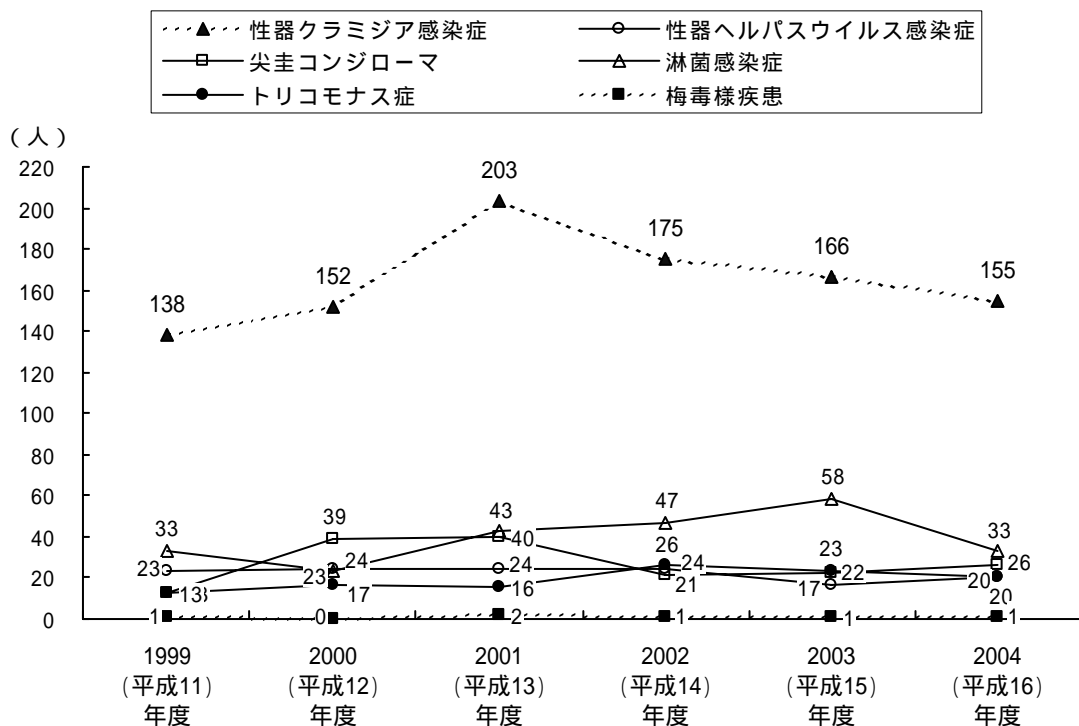
資料：東京都福祉保健局「東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び検査・相談事業の実績」

## 2 STD（性感染症）の患者数

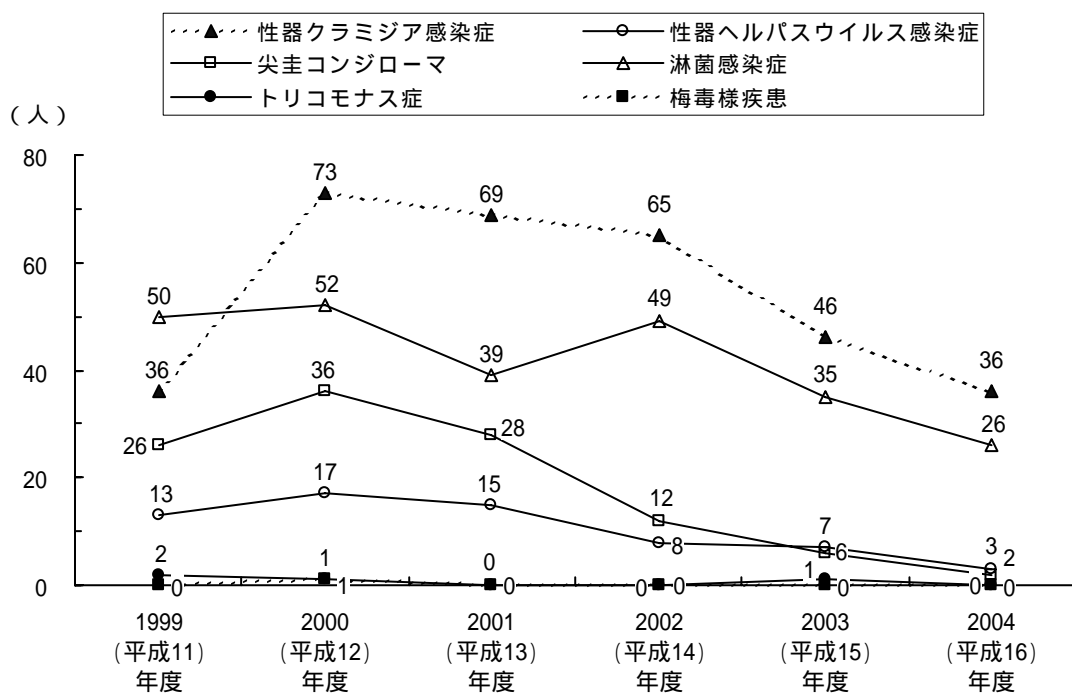
平成13年度に200件を超えていた女性の「性器クラミジア感染症」は、平成16年度には155件まで減少している。男性についても、平成12年度の73件をピークに減少し、平成16年度には約半数の36件となっている。

図表 - 5 - 2 STD（性感染症）の患者数の推移 [10～19歳] (都)

<女性>



<男性>

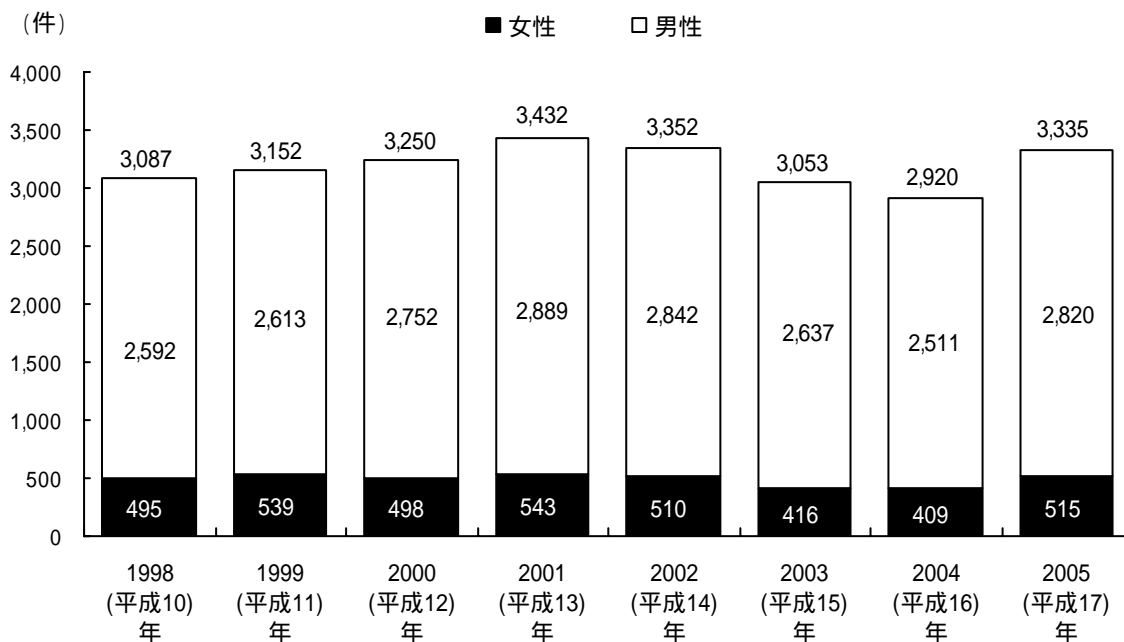


資料：東京都福祉保健局「感染症発生動向調査事業報告書」

### 3 薬物事犯の検挙状況

薬物事犯の検挙数は平成13年を境に年々減少していたが、平成17年は3,335件と前年から14.2%増加しており、内訳は女性が515件(15.4%)、男性が2,820件(84.6%)と男性が多い。

図表 - 5 - 3 薬物事犯の検挙数(都)



資料：警視庁広報資料